

南ア月報
(2020年4月)

【内政】

- ラマポーザ大統領が、2週間のロックダウン延長（4月末まで）を発表
- ラマポーザ大統領が、部分的ロックダウン解除（5月1日以降国境閉鎖の継続）を発表
- 南ア政府が、ロックダウン警戒レベル規制に関するパブリックコメントを実施

【外政】

- AU（アフリカ連合）国家元首及び政府首脳電話会議
- AU（アフリカ連合）国家元首及び政府首脳電話会議
- キューバ人医療者の受け入れ
- AU（アフリカ連合）国家元首及び政府首脳電話会議
- ラマポーザ大統領と各国首脳との電話会談

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数（CPI）
- 為替レート

<出来事>

- ラマポーザ大統領が 5,000 億ランドの社会的救済および経済的支援パッケージを発表
- 南ア準備銀行（中銀）が政策金利を 4.25%へ引き下げ
- Eskom は 7 月末まで計画停電を回避したい考え
- 南ア航空（SAA）及び SA Express の清算措置について

【警備】

- ロックダウン中の治安動向

1 内政

●ラマポーザ大統領が、2週間のロックダウン延長（4月末まで）を発表

9日、ラマポーザ大統領は演説を行い、ロックダウンの2週間延長を発表した。演説においてラマポーザ大統領は、ロックダウンが開始されてから、新たな感染のペースはかなり鈍化したが、ここでロックダウンをやめてしまうと、Covid-19による感染は急拡大し、これまでの努力と犠牲を完全に無駄にしてしまうため、2週間の延長を決定したと説明した。

また、ラマポーザ大統領は、会社やその他の組織、個人から資金を募るために連帯基金（Solidarity Fund）が設立されたことを歓迎し、この基金は、現在まで2億ランドを集め、大統領、副大統領、大臣および副大臣は、給料の3分の1を返上することを決め、その分は連帯基金に寄付されることを発表した。

●ラマポーザ大統領が、部分的ロックダウン解除（5月1日以降国境閉鎖の継続）を発表

23日、ラマポーザ大統領は演説を行い、ロックダウンの段階的解除（5月1日以降の国境閉鎖継続）を発表した。演説においてラマポーザ大統領は、3月26日深夜から開始したロックダウンには効果があったとしつつも、経済活動を再開する必要性と、ウイルスを封じ込めて命を救う必要性とのバランスをとる必要があり、5つのコロナウイルス警戒レベルを策定し、経済活動を徐々にかつ段階的な回復を開始していく旨を発表した。

なお、レベル4に移行しても、外国からの南ア人の帰還、南アからの外国人の帰還以外を除き、国境は引き続き閉鎖され、商品の輸送と葬式などの例外的な状況を除き、州間の移動は引き続き禁止される。

●南ア政府が、ロックダウン警戒レベル規制に関するパブリックコメントを実施

29日、ドラミニニズマ協調統治・伝統業務大臣が会見を行い、4月25日から27日まで募集していたロックダウン中の規制へのパブリックコメント結果を反映した、ロックダウン警戒レベル4の規制を発表した。

ドラミニニズマ大臣は、国民から最も関心のあった項目の一つが、エクササイズであり、家から5キロ以内、朝6時から朝9時までに限定し、散歩、ジョギング、サイクリングを行っても良いとした。また、タバコの販売解禁については、多くの反対意見があり、引き続き、タバコ及び関連商品の販売を禁止することを決定した旨述べた。

2 外政

●AU（アフリカ連合）国家元首及び政府首脳電話会議

3日、AU議長のラマポーザ大統領は、AU首脳テレビ会議の第二回フォローアップとして、Covid-19に対するアフリカの対策を議論するためにテレビ会議を招集した。テレビ会議には、シーシ・エジプト大統領、ケイタ・マリ・大統領、ケニヤッタ・ケニア大統領、チセケディ・コンゴ（民）大統領、カガメ・ルワンダ大統領、アビィ・エチオピア大統領、サル・セネガル大統領及びムナンガグワ・ジンバブエ大統領が参加した。テドロスWHO（世界保健機構）事務局長がプレゼンテーションを行い、検査を行う重要性を強調した。また、同事務局長は、テスト・キット、マスク、防護服、ワクチン、治療法などが入手できるようになれば、それらへの平等なアクセスが保証されることが重要であると述べた。アフリカの首脳達は、医療用品のアフリカにおける生産能力を高めつつも、国際的な協力及び支援の必要性を呼びかけた。

●AU（アフリカ連合）国家元首及び政府首脳電話会議

22日、AU議長のラマポーザ大統領は、AU首脳テレビ会議を招集した。テレビ会議には、

シーシ・エジプト大統領、ケイタ・マリ・大統領、ケニヤッタ・ケニア大統領、チセケディ・コンゴ（民）大統領、カガメ・ルワンダ大統領、アビィ・エチオピア大統領、サル・セネガル大統領及びムナンガグワ・ジンバブエ大統領が参加した。テレビ会議には、ファキ AU 委員会委員長やアフリカのビジネス界のリーダー達も出席した。会議では、コロナウイルスに対抗するために、政府、市民社会及び民間セクターが協力し、最大限のリソースを投じることの必要性等が話し合われた。

●キューバ人医療者の受け入れ

27 日、ラマポーザ大統領は、217 名のキューバ人医療者が南アに到着したことを歓迎する声明を発出した。キューバ人医療者は、感染症医療、生物統計学及び公衆衛生の専門家、現地の医療者を支援し、訪問検査を通じた介入を指導するための家庭医、老朽化した医療用品の活用や修理支援するためのエンジニア、現地の専門家に技術的な支援を行う専門家から構成される。

●AU（アフリカ連合）国家元首及び政府首脳電話会議

29 日、AU 議長のラマポーザ大統領は、AU 諸国の首脳及びアフリカ地域機構の首脳とテレビ会議を行った。シーシ・エジプト大統領、ケイタ・マリ・大統領、ケニヤッタ・ケニア大統領、チセケディ・コンゴ（民）大統領が参加した。また、COMESA（東南部アフリカ市場共同体）を代表し、マダガスカルのラジョリナ大統領、CEN-SAD（サヘル・サハラ諸国国家共同体）を代表し、チャドのデビー大統領、EAC（東アフリカ共同体）を代表して、ルワンダのカガメ大統領、中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS）を代表してガボンのボンゴ大統領、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）を代表して、ニジェールのイスフ大統領、政府間開発機構（IGAD）を代表して、スーダンのハムドク首相が参加した。首脳達は、ファキ AU 委員会委員長によるブリーフェイングを受け、アフリカ諸国の保険、財務、運輸等の閣僚からなるタスクフォースの設置や、AU による COVID-19 連帯基金の設立等を歓迎した。

●ラマポーザ大統領と各国首脳との電話会談

ラマポーザ大統領は、イランのロウハニ大統領、ベネズエラのマドゥーロ大統領、ドイツのメルケル首相等と電話会談を行い、Covid-19 対策のための国際協力の必要性等に関し話し合った。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数（CPI）

2020 年 3 月の消費者物価指数（CPI）は、前月に比べ 0.3% 上昇した。年間消費者物価インフレーション率は 4.1% と、前月に比べ 0.5% 低下した。

●為替レート

2020 年 4 月 30 日付（南ア準備銀行）

5.9082 ランド/円

18.0589 ランド/ドル

19.6490 ランド/ユーロ

<出来事>

●ラマポーザ大統領が5,000億ランドの社会的救済および経済的支援パッケージを発表

4月21日、ラマポーザ大統領は、ロックダウン中の社会的及び経済的影響を緩和するための5,000億ランドのパッケージプランを発表。この金額は、南ア対GDP比で約10%に当たる金額である。この予算は、経済を守り、需要と供給の極端な低下に対応し、雇用を守るため以下の4つの問題に当てられる。(1) コロナ対策への医療予算、(2) 空腹と社会的苦痛の緩和、(3) 企業及び労働者へのサポート、(4) 経済の段階的再開である。(1)の保健分野へは、医療従事者に対して保護具の提供、コミュニティスクリーニング、検査能力の拡大、臨時病棟施設への追加ベッドの購入として200億ランドが充てられた。

●南ア準備銀行(中銀)が政策金利を4.25%へ引き下げ

4月14日、中銀は政策金利を5.25%から4.25%へ引き下げることを発表。この決定により、中銀は今年に入り既に2回の政策金利の引き下げを行い、2020年1月から既に2.25%もの政策金利をカットしたことになる。これにより、実質的に800億ランドを市場に解放したことになる。

●Eskomは7月末まで計画停電を回避したい考え

Eskomは、ロックダウン中に発電を蓄積できるため、冬のシーズンの早い段階での計画停電は行わない見通し。一方で、ロックダウン終了後の電力需要は、ロックダウン前と同程度に上昇すると予想。これにより、ロックダウン終了後の最初の数週間は、インフラ設備に負担がかかるが、計画停電は回避できると考えている。

●南ア航空(SAA)及びSA Expressの清算措置について

現在、会社更生法の適用下にある国営航空企業のSAAについて、政府は更生管財人との清算措置への協議を停止している。両者とも国際的に競争力のある航空会社へ再建することを言及しているものの、政府は追加資金提供を拒否しており、SAAは4月以降の従業員へ給与を支払う資金は残っていない。

同じく、会社更生法の適用下にあるSA Expressは、事業継続が難しく、今後事業が好転する見込みはないと判断され、暫定清算措置がとられた。

4 警備

●ロックダウン中の治安動向

22日、南ア国家警察は、ロックダウン中の重要凶悪犯罪の発生状況について発表を行った。4月20日までの時点で、重要凶悪犯罪は前年同時期と比較して大幅に減少しており、殺人が72%、凶悪強盗が69.6%減少した。凶悪強盗のうち、カージャックは80.9%、住居侵入強盗は53.8%減少となった。

一方でタウンシップ等貧困度の高い地域においては、スーパーでの略奪や学校荒らし等が発生し、警察は国防軍の支援を受けながら捜査や治安対策に取り組んでいる。